

才能教育 全国大会

ヴァイオリン演奏会

• どこよりも良い品を • どこよりも安く • どこよりも親切に

京都店



東京店

お買物は四大 都市の大丸で

京阪神各地に東京にすぐれた設備と
豊富な商品と行きとどいたサービスと
を以て皆様に親しまれています大丸は
名実共に日本をつなぐお買物大セ
ンターとなりましたたのしいお買物
は大丸へ

傍系：博多・下関・高知・鳥取・別子の各大丸

大阪店



神戸店



東京・八重洲口
大丸
電代 (23) 1531

9都に共通 御便利な
大丸の商品券

300円 500円 1,000円
2,000円 3,000円 5,000円
10,000円の7種類

どの子も育つ…育て方一つ
才能は生れつきのものではない。
総ての子供の育つ教育方法の提唱

このことを実証しようとする

民間に起った教育方法革新の運動

● 開催日時 ●

昭和30年3月27日(日曜)

午後1時 第3回卒業式

午後2時 全国大会

ヴァイオリン演奏会

(出場児童1000人)

● 会場 ●

東京都立体育館



鈴木 一

生れつきの才能はない

人間の優劣が生れつきの才能の有無によって宿命づけられるものであると言う昔からの考え方を否定する。

このように考えていたのは人間の世界の一つの迷信のようなものであつたと私は思う。

私共はこの迷信から目覚めたのである。

人間の文化的能力は遺伝しない筈である。

この点少なくとも私共は音楽的才能が遺伝によるものではないことを実証し得たのである。

特定な才能をもって生れて来る人間は一人もないと言うことを私共は知ったのである。

日本人の子供は日本語に対する才能をもって生れて來るのではない……と同じよう…総ての才能は生れて後の育成条件によってつくられてゆく。

育たないのは育て方の失敗と育てないことに原因するのである。

遺伝の優劣

頭脳の遺伝としての優劣は当然のことであろう。然し頭脳の優劣は人間の器官としての優劣として遺伝するだけではないか。特定な文化能力の素質が内在するわけがないと思う。

器官としての優劣と言うのは

環境に順応する感度と速度の優劣

これが人間の遺伝としての頭脳の性能の優劣であるにすぎないのではないか。

日本語を話す子供達に思う

日本中の子供達が、どの子もどの子も皆自由自在に日本語を話す高い能力に育っている、と言う事実について、……私は驚きの目をみはつたのである。

世界中の子供についても、同じことである。

私は驚いた。

上手に育てれば……地上の総ての子供達は、母国語のような高い能力へ皆立派に育ってゆく素晴らしい頭脳の持主ではないか。

教育不可能な子供達はいない筈ではないか……気がついてみれば、子供を育てそこねた大人達が「この子は生れつき頭がわるい」と考えている妙な今日の世界がその実体ではないか。

子供達の頭脳は皆健全ではないか。大人達の教育のやり方こそ……反省すべき最大事ではないであろうか。

才能教育法

世界中の子供の言葉の才能を立派に育てあげる母国語の教育法こそ世界最上の教育法である。

この点に着眼した私は以来二十年、その研究をやり、その方法を先ず音楽教育に実行したのである。即ち才能教育法とは母国語の教育法のことである。

この方法はどの分野に於ても活用出来るであろう。才能……人間の能力の育つ条件は同じである。たゞ育成の方法はそれぞれの路によって道が拓かれねばならぬのは当然であろう。

白痴への道……人間価値の低下

苗を育て害ねたときにはその一生はどうなるだろう、苗を立派に育て、こそそのもの、真価が光り輝いて來るのである。

どの子供でも白痴にしてしまうことが出来る。それには幼い時代に少しも教育しなければよい。その為には言葉を教えるもいけない。

之を六才位まで実行すると大体人間として白痴までに近くその一生の価値が低下してゆく。

小学校入学前の教育の……能力育成を禁じる時代の中に日本も在るようで、今日
でもまだその思想の中に安住しているのではないか。

総ての子供は害われつ、生きている。情けない時代である。

教育は生れた時から始まっている。

六才まで右手を身体に縛りつけて置けばその手は一生役に立たない。毎日いろいろなことに使用することによって、手には一生役に立つ能力が育てられる。

頭脳もそのとおりである。

うかつな親は愛するわが子を白痴への道へつれていく。

どの子も育つ……育て方一つ

才能は生れつきではない。言葉の出来る限りそこには人間の他の文化能力も育つ可能性が示されている。

私共才能教育では、誰でもテストなしにうけとる。

才能は育てるものであるからである。

子供の教育の可能性

今日演奏する五才以上の子供達1000人の育ちつ、ある姿は、決して特定な子供達の集まりではないのである。

才能教育に共鳴した同志の子供達が、育ちつ、あるたくましい人間の姿である。

1000人の子供が Bach や Vivaldi の協奏曲を協演するなどと言うことは恐らく世界で始めてのことであろう。

然し私は思う。

この1000人の協演の姿と、その育てられた力こそは、地上の他の総ての子供達の可能性を代表するものであることを。

日本中の子供達を、国の方で、大人達の自覚の方で、一人のこらずこのような芸術的人間性を育てる時代をつくりたい。そして又日本中の子供達を一人のこらず、人間として真・善・美の感覚と能力の人に育てる義務教育時代にしてほしい。

総ての子供達には、そうなる可能性があるのである。

私共の才能教育運動はそのような夢に向ってスタートしたのである。

子供達の伸び育ちゆく可能性の高さについては、私共はたゞ途方にくれるばかりである。このことはいつの時代でも心ある人々は感じられることであろう。

われわれの力と方法の不足を歎くのみである。

子供達の為に祈る

地上の総ての子供が人間として好ましい心、美しい感覚、言葉のような立派な能力、正しさを知る力、に育てられる時代をつくることが、われわれ大人に与えられた一つのつとめであることを思う。平和への道もこゝにより外にないであろう。

地上の総ての子供の上に幸あれ

●第3回卒業式次第●

・開会の辞 副会長高崎能樹

・挨拶 会長鈴木鎮一

・卒業生氏名発表

・卒業証書授与

・お祝いの言葉 名誉会長徳川義親

・卒業生代表(感謝の言葉)

・父兄代表(〃)

・諸先生へ花束贈呈

・合唱 子供の幸を

(鈴木鎮一作曲)

オイストラフ先生と
鈴木先生を囲んで(東京にて)
二月二十七日(一九五五年)



PROGRAM A

PROGRAM B

第一 部

協奏曲 第五番 イ長調 K. 219番 モーツアルト
Concerto No. 5 A major K. 219 Mozart

第一楽章 アレグロ アペルト
1st. movement Allegro aperto

協奏曲 第一番 イ短調 バッハ
Concerto No. 1 A minor Bach

第一楽章 アレグロ モデラート
1st. movement Allegro moderato

カントゥリー ダンス (アレグレット) ウェーバー
Country dance (Allegretto) Weber

協奏曲 ト短調 ヴィヴァルディ
Concerto G minor Vivaldi

第一楽章 アレグロ
1st. movement Allegro

協奏曲 イ短調 ヴィヴァルディ
Concerto A minor Vivaldi

第三楽章 プレスト
3rd. movement Presto

講演 会長 鈴木鎮一

休憩
(INTERMISSION)

第二 部

複協奏曲 二短調 バッハ
Concerto in D minor for two violins Bach

第一楽章 ヴィヴァーチェ
1st. movement Vivace

ルーレ (アレグロ) バッハ
Loure (Allegro) Bach

ガボット (アレグレット) リューリー
Gavotte (Allegretto) Lully

ブルーレ (アレグレット) (二部合奏) ヘンデル
Bourree (Allegretto) Händel

マカベウスよりの合唱 (マエストーネ) (三部合奏) ヘンデル
Chor aus "Judas Maccabaeus" (Maestoso) Händel

メヌエット 第三番 (アレグレット) (二部合奏) バッハ
Menuetto No. 3 Allegretto Bach

メヌエット 第二番 (アンダンティーノ) (二部合奏) バッハ
Menuetto No. 2 (Andantino) Bach

キラキラ星 変奏曲 鈴木鎮一編曲
Twinkle, twinkle little star Arr. by Suzuki

第三 部 全員合唱・合奏

旅愁 オドウェイ
Dreaming of Home and Mother J.P. Ordway

アンニー ローリー スコット
Annie Laurie L.J. Scott

螢の光 スコットランド民謡
Auld Lange Syne Scotch Air.

アルバムのなかから



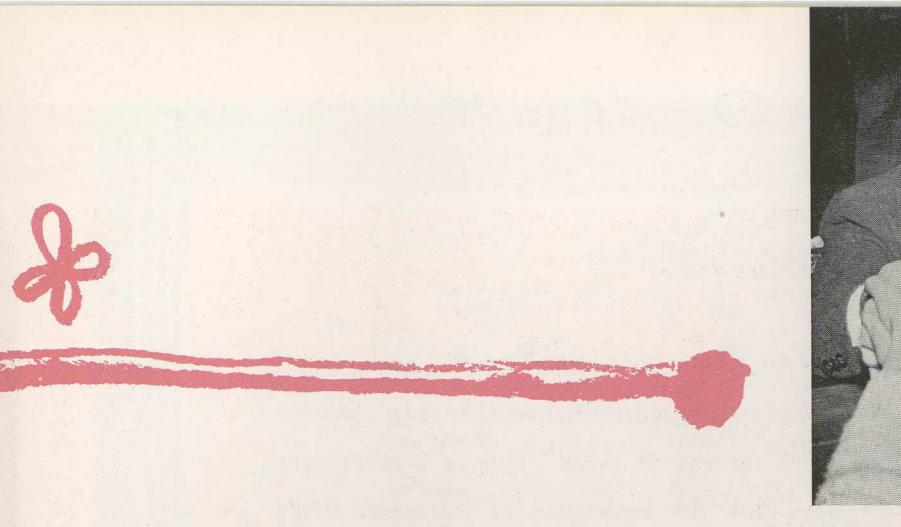
第一回(一九五三年) 卒業演奏会
Talent Education 1st Graduation Ceremony
(1953)



ギーゼキング先生と子供達(名古屋にて)
Mr. Giesecking with the children



サージェント先生を囲んで(名古屋にて)
With Mr. Sargent (at Nagoya)



全国ユネスコ大会における
At the UNESCO International Meeting



コルトー先生を見送る子供達(松本駅にて)
Prof. Alfred Cortot shaking hands with the
children



第二回卒業演奏会(一九五四年)於青山学院
ホール
Talent Education 2nd Graduation
Ceremony (1954)





社団法人 才能教育研究会